

科目目標	漁業に関する知識と技術を習得させ、資源管理と漁業経営について理解を深めさせるとともに、漁業における生産性の向上を図る能力と態度を育てる。
評価方法	各定期考査・出席率・提出物状況や授業態度にて評価する。

月	総時数	学習項目	学習内容	時数
4	2	第1章 漁業と水産生物	第1 漁業の役割	2
	4	第1節 漁業の意義と沿革	第2 漁業の変遷	2
	6		第3 漁業をめぐる課題と展望	2
5	8	第2節 海洋環境と生物生産	第1 海の基礎知識	2
	10		第2 海流と水塊	2
	12		第3 海の生態系	2
6	15		第4 プランクトンと食物連鎖	3
	17		第5 海の生物生産力	2
7	19	第3節 漁場と漁場調査	第1 漁場条件	2
	22		第2 漁場の調整	3
	24		第3 漁場の選定と調査方法	2
9	26	第4節 海の環境保全	第1 海洋環境の保全の意義	2
	29		第2 漁場環境の変化	3
	30	第2章 水産資源と漁業管理	学習課題	1
10	32	第1節 水産資源	第1 水産資源の特性	2
	34		第2 水産資源の動向	2
	37		第3 水産資源量の調べ方	3
	40		第4 適正漁獲量と資源の評価	2
	43	第2節 漁業管理	第1 漁業管理	2
11	44		課題学習	2
12		第3章 漁業の技術		
	47	第1節 漁具と漁法	第1 水産生物の生態と行動	3
	49		第2 動物の行動と感覚特性	3
	51		第3 漁具と漁法の分類	2
	55	第2節 主な漁業と資源増殖	第1 主な漁場	4
1	57		第2 資源増殖	
		第3節 漁具の構成と材料		2
	60		第1 漁網・ロープの原料	3
2	63		第2 網糸・釣糸・ロープの構造	3
	65		第3 網糸・釣糸・ロープの太さと重量	2
3	68		第4 網糸・釣糸・ロープの性質	3
	70		第5 浮子及び沈子	2
			第6 漁具の構成と製作	

「漁業」 シラバス (授業計画)

海洋技術科 2年 船長・コーストマリナーコース 2単位